

# 質 問 通 告 一 覧

第6回島田市女性議会  
令和元年7月30日

島 田 市

◎ 発言順位

				(頁)
1番	小栗	さゆり	さん (一問一答)	----- 1
2番	杉村	美桜	さん (一問一答)	----- 2
3番	榛葉	百華	さん (一問一答)	----- 3
4番	白倉	麻里奈	さん (一問一答)	----- 4
5番	喜田	里歩	さん (一問一答)	----- 5
6番	深澤	香世子	さん (一問一答)	----- 6
7番	竹下	媛香	さん (一問一答)	----- 7
8番	坂田	美智子	さん (一問一答)	----- 8

## 1. 1番 小栗 さゆり さん (一問一答)

### 1. 大井川流域のツーリズムについて

島田市では、2020年に（仮称）大井川流域観光拠点が完成するなど、観光開発に資する様々な取組が進められている。

現在、旅行形態が個人旅行にシフトし、市場も「モノ消費」から「コト消費」に変化している。旅行者が旅先での経験を重視する傾向にある中、大規模な観光開発だけでなく、地域住民との触れ合いや交流ができるような観光コンテンツ作りを進めていく必要があるのではないかと感じている。

そこで、以下について質問する。

- (1) 市内にホテル・旅館・民泊等の宿泊施設はどのくらいあるのか。また、不足していると感じるエリアはあるか。
- (2) 今後の大井川流域の観光計画はどのような取組が予定されているか。
- (3) 豊富な知識・経験を有する地域住民の活躍が、本地域ならではの観光コンテンツに結びつくのではないかと考える。こうした地域から生まれる観光コンテンツに対する市の考えはどうか。
- (4) 本地域が、都会で暮らす子ども達の「第2のふるさと」として位置づけられたらと思うがどうか。

## 2. 2番 杉村 美桜 さん (一問一答)

### 1. 介護対策について

少子高齢化が深刻化している今、大人だけでなく、子供も介護をしなくてはならない状況が増加されると予想される。この問題について市はどのような対策を行っていくのか。

- (1) 現在、島田市にはどのような介護サービス事業所があるか。
- (2) 高齢化が進行する中、介護に関する相談が増えていくものと思われる。そうした場合に、市はどのように取り組んでいるか。
- (3) 子供の頃から介護についての知識を得る必要があると考えるが、市としてどのように考えているか。
- (4) 少子高齢化に伴い、市民が安心していくために今後の展望を伺いたい。

### 3. 3番 榛葉 百華 さん (一問一答)

#### 1. 初倉地区におけるバスの運行について

初倉地区は、旧市内を除いて金谷、六合に次ぐ 13,000 人余りの人口数である。そのような中、交通という観点から公共交通機関に焦点をあてると金谷や六合に住む学生や高齢者はJRを利用して移動できるが、初倉はバスを利用する他に手段がない。しかし、コミュニティバス湯日線および島田静波線の2路線のみで、さらに運行数が少ないため苦慮している。そこで、以下について質問する。

- (1) 初倉地区の高齢者および高校生の人数とバス（湯日線、島田静波線）利用者数を教えてほしい。
- (2) 初倉地区のバス（湯日線、島田静波線）運行状況を教えてほしい。
- (3) 学生が登下校で利用しやすい午前7時～8時と午後4時～7時等の時間帯でバスの増便計画はあるか
- (4) 近頃、高齢者の免許返納を促すという観点から、バスを増便することによって利便性を確保し、返納率上昇へとつなげることはできないか。

#### 2. 通学路の安全確保について

近年、報道等において未成年の交通事故を多数見かける。そこで、島田市においても子どもが安全・安心に登下校できる環境を整えることが重要だと考える。市として、通学路などハード面における環境対策事業はあるか。

- (1) 安全・安心な通学路を確保するため、街灯設置などで道を明るくするなどの対策が必要だと考える。市としてどのような対策を進めているか。
- (2) 静岡空港などの影響で、初倉地区における交通量が増えた。しかし、幹線道路の歩道がすべて整備されているわけではなく、とても危険な状態である。改善するための具体的な取り組みを教えてほしい。

#### 4. 4番 白倉 麻里奈 さん (一問一答)

##### 1. 市民が多様な繋がりを築くための行政支援について

私は島田市で生まれ育ったが、進学するために一度県外へ出て、その後就職をするために島田市へ戻ってきた。島田市へ戻ってから、様々な人と出会って繋がりをもちたいと思ったが、その方法がわからず、新たな関係性作りにとっても苦勞した経験がある。

人との繋がりの量や質が、生活の豊かさ(QOL)と大きく関連すると言われているが、かつてない程の人口減少により、既存のコミュニティ内の繋がりの量や質は共に低下しているのが現状だと思う。

また、人口減少が進行していく中では、社会や様々なコミュニティの中で、一人ひとりが担うべき役割は増加していくものと予想される。

既に島田市に住んでいる人、島田市に移住してきた人、市外から島田市を訪れる人、島田市に興味があり、応援してくれている人などが互いに多様な繋がりを持ち、複数のコミュニティに参加できる環境があれば、それが生きやすさや生活の豊かさに繋がるのではないだろうか。

私は、そのような人と人との柔軟な関係性が、まちづくりや地域づくりに主体的に関わる人を増やしていくのではないかと考える。

そこで、市民や市民以外の人が多様な繋がりを築くための仕組みづくりについて、次のとおり質問する。

- (1) 現在、転居及び就職、進学等により新たに市内で生活を始めた者に対して、もともとから住んでいる人と関わりを持たせるための支援はあるか。
- (2) 市が実施している事業の中で、来場者と主催者・イベント参加者が繋がりを持てる事業はあるか。
- (3) 人口減少・高齢化により、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる「関係人口」という概念が提唱されている。市の事業を推進するひとつの視点として取り入れてはどうか。

5. 5番 喜田 里歩 さん (一問一答)

1. 生涯スポーツを活用した地域活性化について

人口減少、高齢化等により地域コミュニティの共助機能の低下、コミュニティの希薄化が予想されることと、生涯しあわせに暮らす健康づくりのためのスポーツの推進について、市ではどのような対策をとっていくのか。

- (1) 健康増進のための市民スポーツは、どんなスポーツをどんなタイミングで開催しているか。

6. 6番 深澤 香世子 さん (一問一答)

1. 障害者及び高齢者の移動について

市の委託事業として福祉車両の貸出があり、走行距離分のガソリン給油で安価に借りられる反面、車の台数が少なく、利用目的や時間、利用回数に制限があることや、手続きに手間がかかることもあり利用しにくい状況にある。この問題について、市ではどのような対策を行っていくか。

また車椅子タクシーは、車椅子を利用する障害者や高齢者の足となり、行きたいところにドアtoドアで行けることから利便性はいい。しかし、市内の車椅子タクシーの台数は少なく、利用者が重なった場合、予約がとれないこともある。この問題について、市ではどのような対策を行っていくか伺いたい。

- (1) 市が委託事業として実施している福祉車両の昨年度の貸出実績は何件か。
- (2) 川根地区には福祉車両が1台もなく、障害者や高齢者の移動について早急な対策が必要となるがいかがか。
- (3) 市内の車椅子タクシーの台数は少なく、利用者が重なった場合、予約がとれないこともある。平日の夜間や土日など運転手が確保できないという理由で、時には利用を断られることもある。この問題を市としてどのように受け止めるか。



## 7. 7番 竹下 媛香 さん (一問一答)

### 1. 住民が参加する島田のコミュニティづくり

数年前、島田市の総人口が10万人を切った。少子高齢化による人口減少、そして地域コミュニティの衰退など、改善していかなければならない課題がある。地域を活性化することによってこれらの課題は解決できるはずである。

そこで、以下の点について伺う。

- (1) 島田市における少子超高齢化、人口減少社会に対する取組及び、今後の方針・方向性等を伺う。
- (2) 地域活性化に向け、地域の住民が協力し、取り組んでいる事例等を伺う。

### 2. 島田市の賑わいづくり

私はイベントやお祭りなどに興味があり、通学している大学祭の実行委員なども務めている。今年は3年に1度の島田大祭の年である。300年以上続く島田大祭を後につなげていくことは、多大な労力を要することも最近知った。そこで、来年2月に留学するスペインで、多くのお祭りやイベントにボランティアや企画運営係として参画したいと考えている。そこで得たアイデアや知識を使ったお祭りやイベントを企画し、島田市を活性化させていきたい。

- (1) 私が企画したお祭りを、周りの協力を得て実現しようとした場合、島田市としてどんな支援があるか。

## 8. 8番 坂田 美智子 さん (一問一答)

### 1. バリアフリー みんなの居場所づくり

私は重度障がい児者親の会リアンの会で会長を務めている。リアンの会に在籍する母親から、重度障害者向けの通所施設があと数年で満員になってしまうという不安の声があがっている。また、不登校の子が友達と安心して過ごせる居場所が欲しいという要望も出ている。

こうした中、先日の新聞に学校再編の記事が出ていたことから、学校の跡地を活用できないかと考えた。これらをふまえ、以下の質問をする。

- (1) 重度障害者向けの生活介護施設の受け入れ状況はいかがか。
- (2) 市内の不登校児の現状や課題を教えてほしい。
- (3) 再編後の学校施設の使い方は決まっているか。